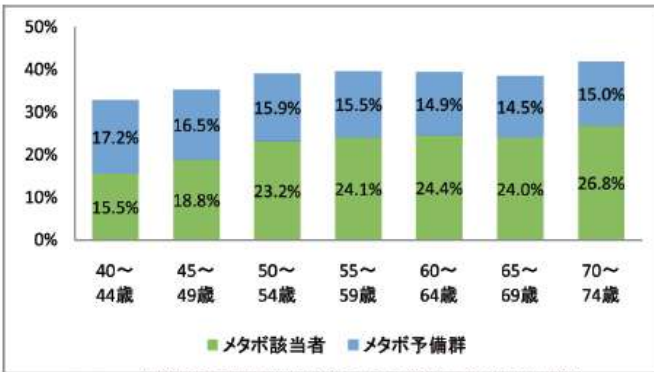


# 静岡県の健診データの実態

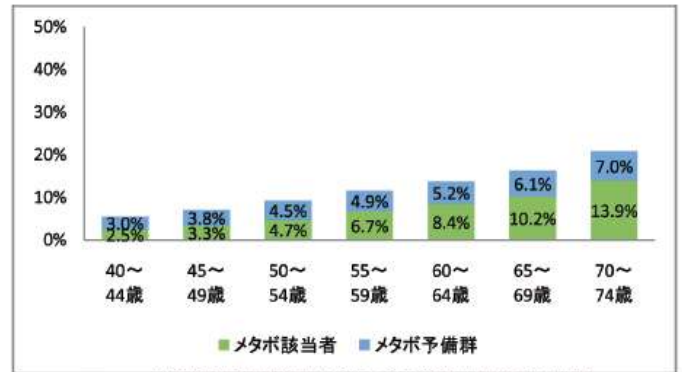
健康課題を明確にして、静岡県の生活習慣病予防対策に役立てるため、平成 20 年度に特定健診を受診した静岡県国保加入者の 40 歳以上 75 歳未満の約 20 万人のデータを用いて、集計分析を行いました。

## ■メタボリックシンドローム該当者は、年齢とともに増加しています。

男性は、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者が、年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。予備群は、ほぼ横ばいでした。女性は、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者及び予備群が、年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。



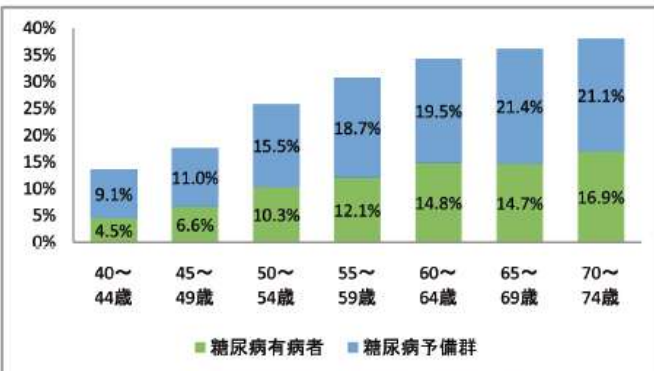
内臓脂肪症候群該当者及び予備群 該当率(男性)



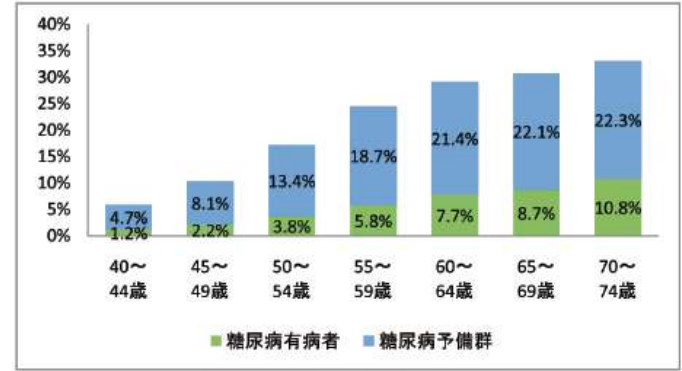
内臓脂肪症候群該当者及び予備群 該当率(女性)

## ■糖尿病有病者及び予備群は、年齢とともに増加しています。

男女とも、糖尿病有病者及び予備群の割合は、年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。



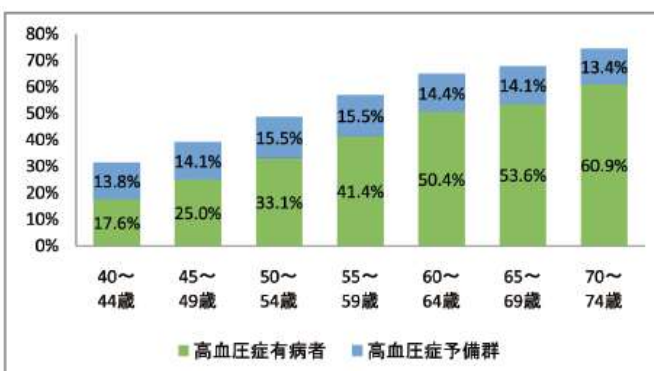
糖尿病有病者及び予備群 該当率(男性)



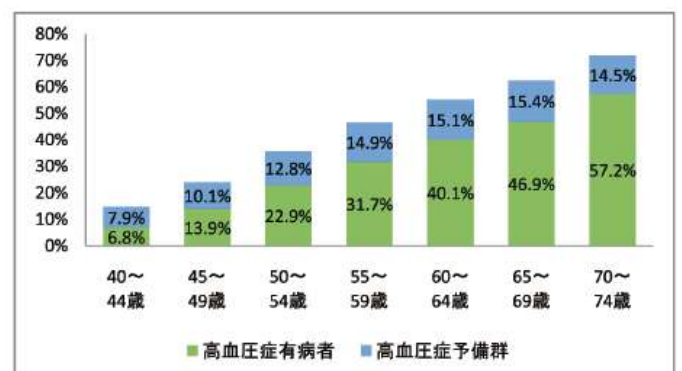
糖尿病有病者及び予備群 該当率(女性)

## ■高血圧症有病者は、年齢とともに増加しています。

男女とも、高血圧症有病者は、年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。



高血圧症有病者及び予備群 該当率(男性)



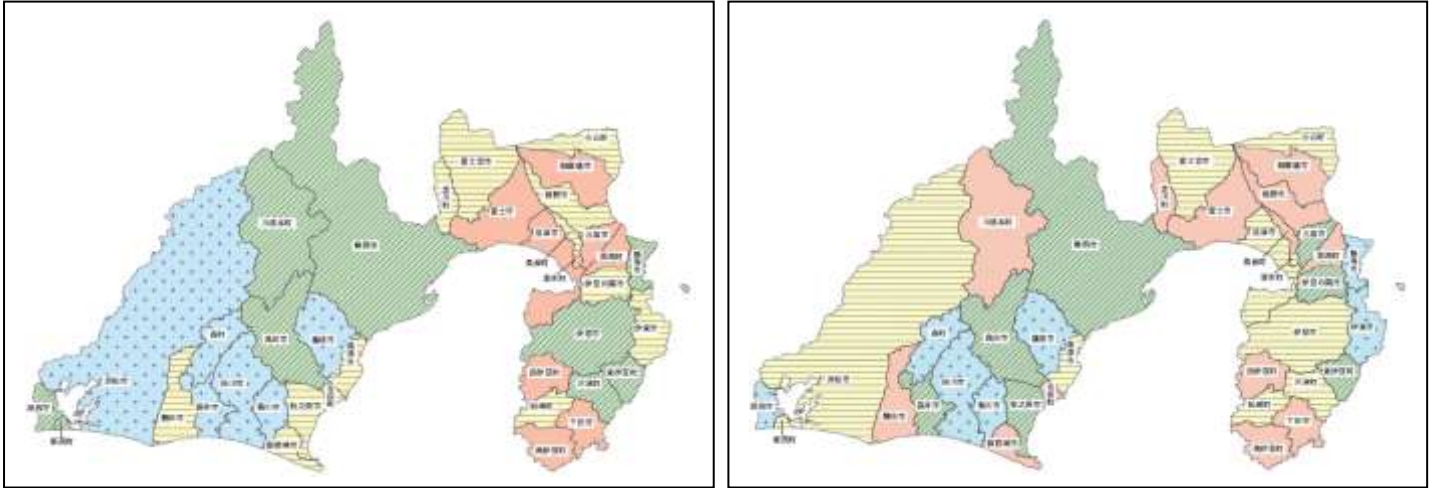
高血圧症有病者及び予備群 該当率(女性)

## 標準化該当比

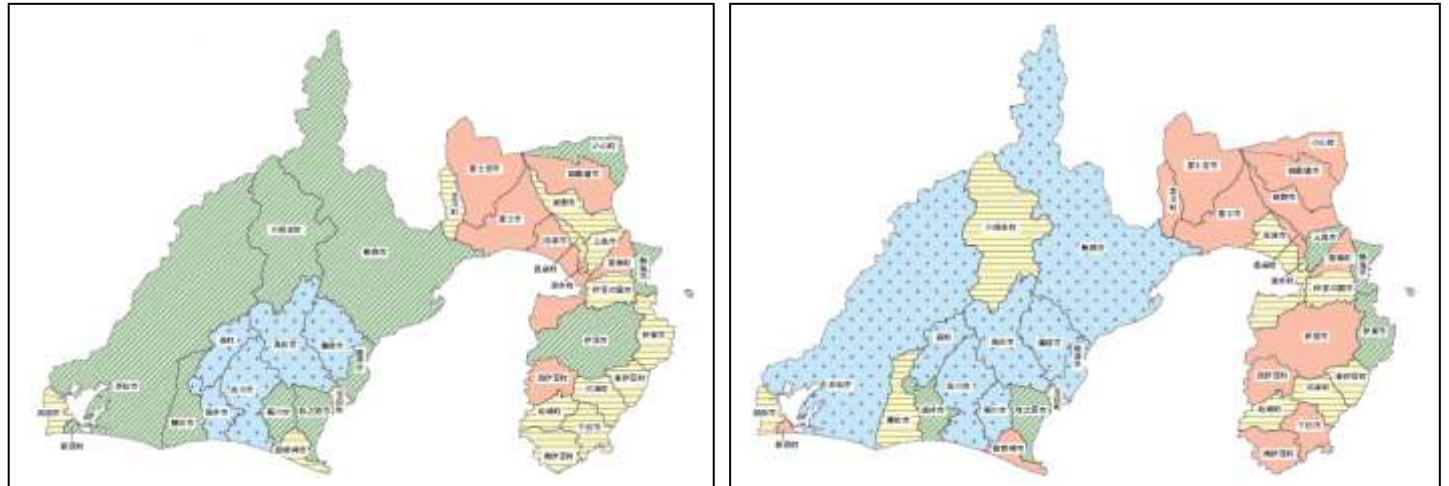
## ■静岡県を基準として、各項目を市町ごとに比較しました。

静岡県と各市町国保を比較したところ、「有意に高い」という結果が、東部地域に多い傾向がみられました。

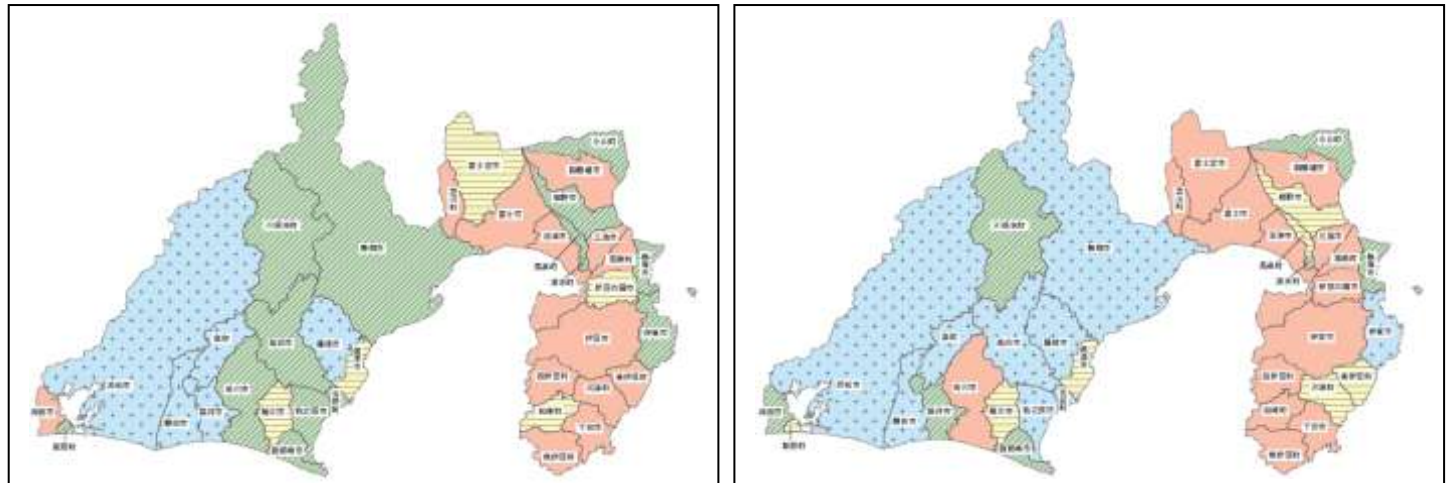
## 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)該当者 (左図:男性、右図:女性)



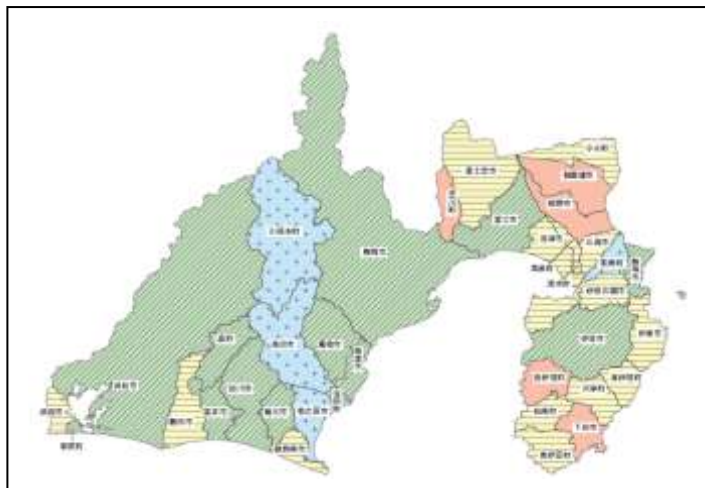
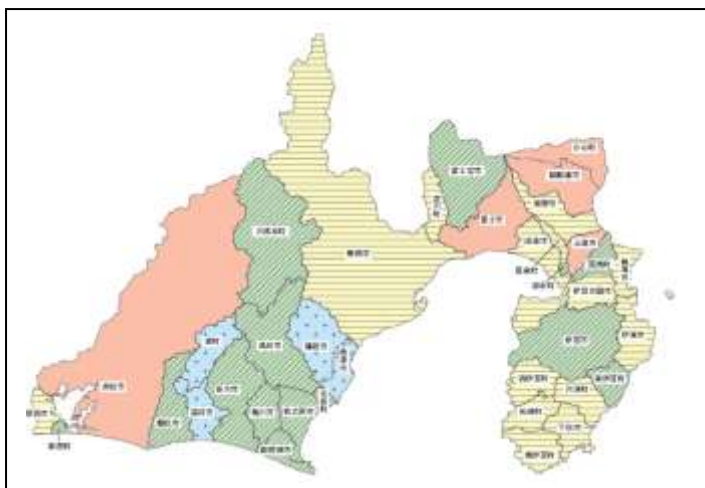
## 肥満(BMI25以上または腹囲基準値以上)(左図:男性、右図:女性)



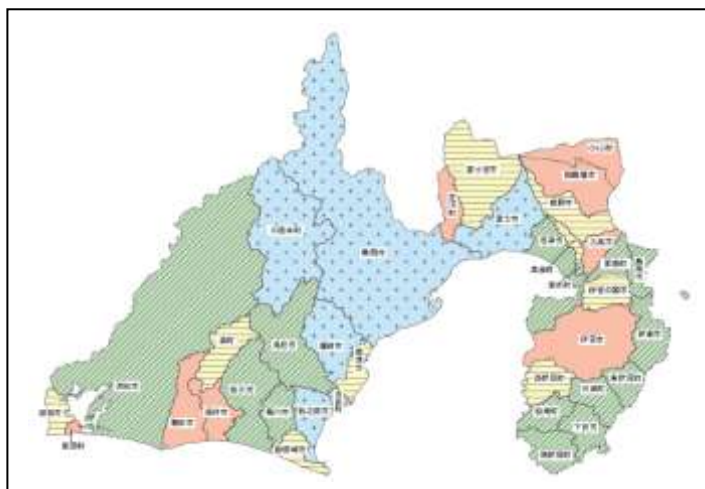
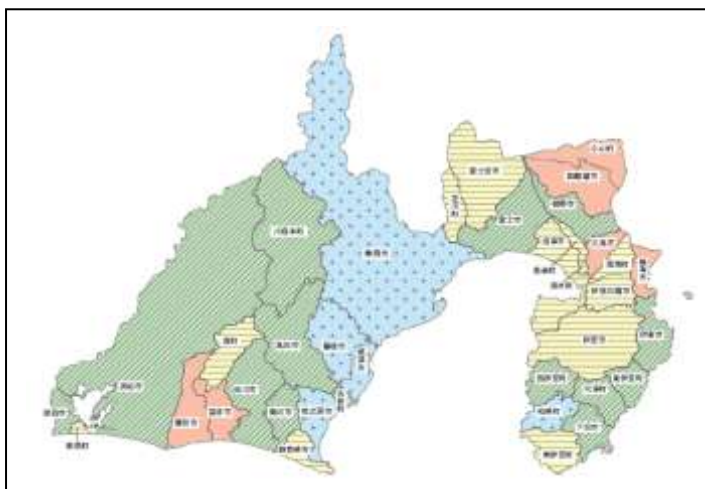
## 高血圧症有病者 (左図:男性、右図:女性)



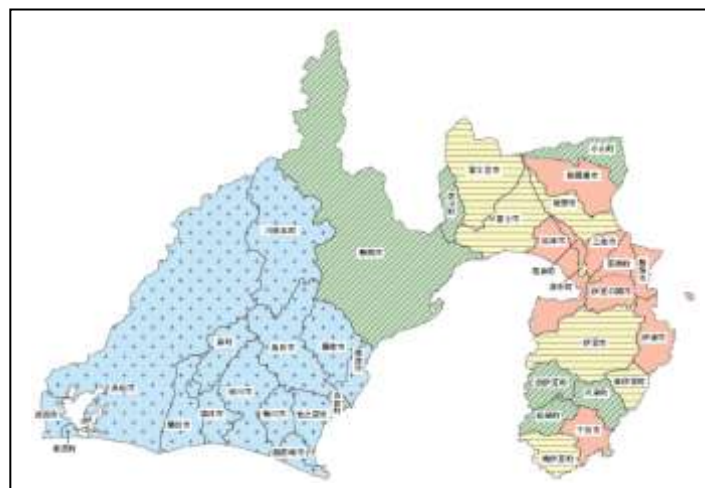
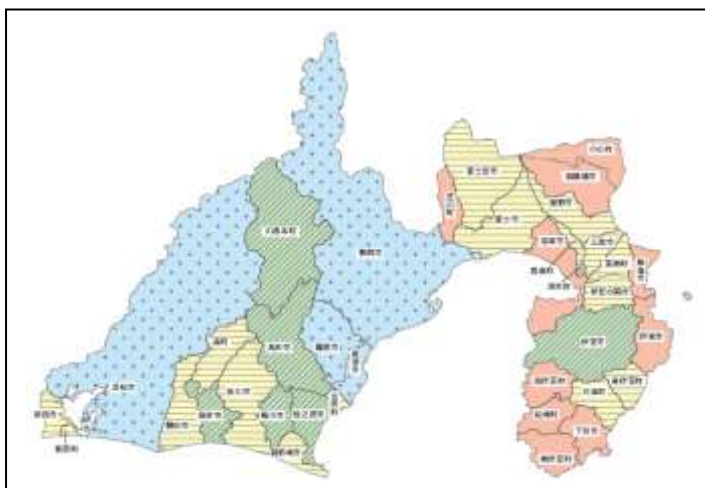
脂質異常症（左図：男性、右図：女性）



糖尿病有病者（左図：男性、右図：女性）



習慣的喫煙者（左図：男性、右図：女性）



図の読み取り方

健診受診者の年齢構成が保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比（SMR）の計算方法に準じて、「標準化該当比」を算定し、4段階に区分しました。

- 有意に低い・・・「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時
- 低いが有意ではない・・・「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限≥100」の時
- 高いが有意ではない・・・「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限≤100」の時
- 有意に高い・・・「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時

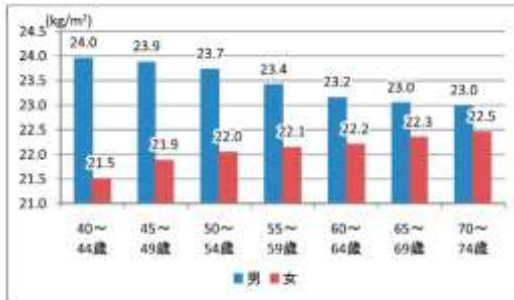
※「有意に高い」とは、当該保険者の標準化該当比が静岡県に比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示します。

## 性・年齢階級別の検査値

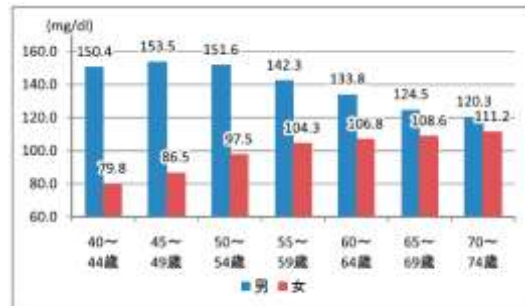
## ■性別や年齢によって、健診結果に特徴がみられました。

BMI (体格指数) の平均値は、男性は 40 歳代で最も高く、女性は年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。

中性脂肪 (トリグリセリド) は、BMI と同様に、男性は、40~50 歳代で高く、女性は年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。



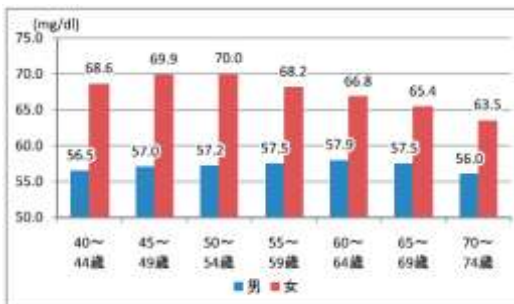
BMI 平均値



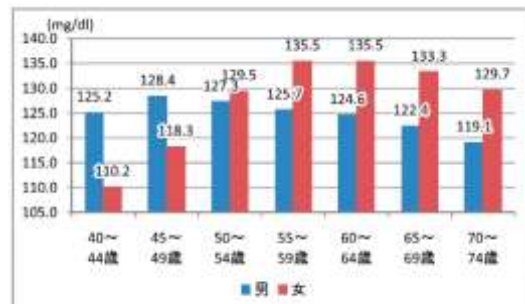
中性脂肪(トリグリセリド) 平均値

HDL (善玉) コレステロールは、男性に比べ、女性の方が高値でした。

LDL (悪玉) コレステロールは、女性は 50 歳代以降、男性よりも高値となりました。

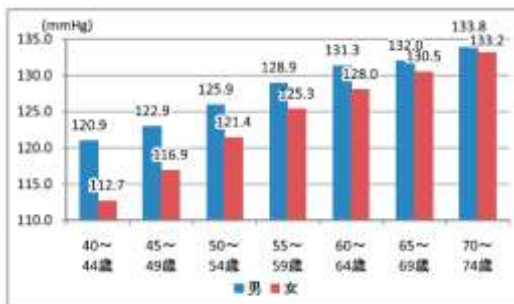


HDLコレステロール 平均値

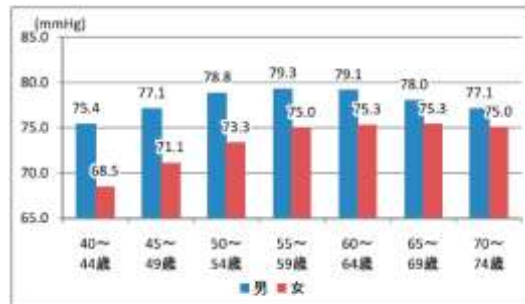


LDLコレステロール 平均値

血圧は、男女とも、年齢階級が上がるにしたがって、高くなりました。

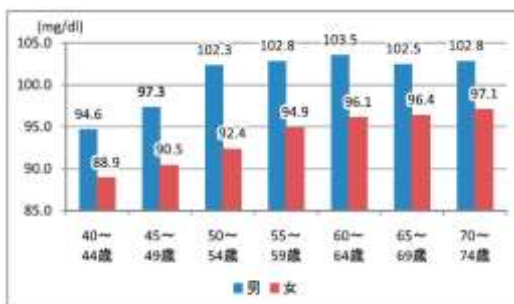


収縮期血圧 平均値

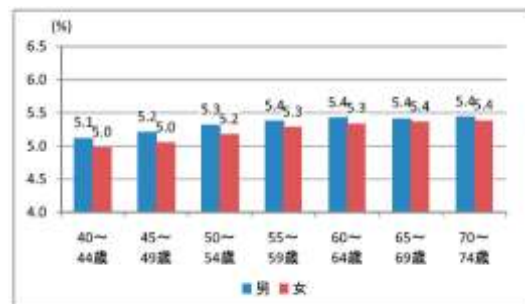


拡張期血圧 平均値

空腹時血糖は、女性に比べ、男性の方が高値でした。HbA1c は男女とも、あまり差がありませんでした。



空腹時血糖 平均値



HbA1c 平均値